

令和5年度 第1回

まちづくりミーティング

材木、味噌蔵、此花、瓢箪 校下（地区）

日時 令和5年8月19日（土） 18時30分から
場所 玉川こども図書館 3階 交流ホール

本日は、お忙しい中をご参加いただき、誠にありがとうございます。
進行は次のとおりですので、よろしくお願いいたします。

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 地域代表あいさつ
- 4 進行の説明等
- 5 地域課題について
- 6 共通課題について
- 7 質疑応答、意見交換
- 8 市長まとめ
- 9 閉会

金沢市広報広聴課

TEL 220-2348 FAX 220-2030

提出課題一覧

1 地域課題

番号	地域課題	頁
1	歩けるまちづくりの強化・拡大（協定の見直し） （材木地区町会連合会）	P2 P3
2	高齢化が進む地域の活性化について （味噌蔵地区町会連合会）	P4 P5
3	交通対策（歩行者の安全・安心の確保） （此花地区町会連合会）	P6 P7
4	独居高齢者の増加と空き家対策 （瓢箪地区町会連合会）	P8 P11

2 共通課題

番号	共通課題	頁
1	小学校等の跡地対策・有効活用について	P12 P13

地域課題 1

町会連合会名	材木地区町会連合会
地域課題	歩けるまちづくりの強化・拡大（協定の見直し）
現状と課題	<p>材木地区では、平成21年10月に金沢市と「歩けるまちづくり協定」を締結し、「歩けるまちづくり構想」を作成するとともに、浅野川沿いの生活道路において、朝の通学時間帯における通過交通抑制のための交通規制などを行い、通過交通減少の効果が発現されました。</p> <p>しかし、材木町と兼六元町の通り（賢坂辻～大手町）においては、特に朝夕の時間帯に通り抜け交通が多く、しかもこれらの車両は走行速度が早く、兼六小学校児童の通学時の安全が脅かされています。</p> <p>高齢者も多い地区であり、今後、兼六小学校移転により通学路の変更や距離の延伸など状況も変化します。</p> <p>安全で安心して歩けるまちづくりが求められています。</p>
地域が考える対応策・解決策／協議したい事項	<p>歩けるまちづくり構想について、卯辰山や鈴見エリア、味噌蔵エリアを含めた協定区域の拡大を視野に入れ、味噌蔵地区や田上地区と連携し人中心のまちづくりの推進を図っていきたい。</p> <p>本課題に関する住民アンケートをはじめ周知活動等のソフト対策は地域が主体となって取り組みたいと思いますが、交通規制を含むハード対策について調査、検討、実施をお願いしたい。</p>

市の方針等説明書（地域課題 1）

地域課題	歩けるまちづくりの強化・拡大（協定の見直し）
協議事項	交通規制を含むハード対策について調査、検討、実施をお願いしたい。
市の方針等	<p>材木地区では、平成21年に「歩けるまちづくり協定」を締結し、地域の方々が主体となって推進してきた取組のもと、一定の効果があつたことは地元の方々とも共有しているところです。</p> <p>また、学校や警察、道路管理者等の関係機関による累次の通学路合同点検を通じ、市として、地域の方々と連携して様々な安全対策を行ってきており、今月24日にも予定されているところです。</p> <p>一方、「歩けるまちづくり協定」締結後、小学校の統合など地区内の生活環境が変化しているほか、今後も小学校の移転が予定されていることから、児童の通学環境をはじめとした地域内の歩行者への安全対策は、引き続き取り組んでいく必要があります。</p> <p>交通規制については、地域の方々にもご負担が生じることから、地区内の意識の醸成や合意形成が必要不可欠であり、今後も、安心して歩くための地域の主体的な取組に向けて、警察や学校、道路管理者等と連携を図るとともに、引き続き、本地区をはじめ地域の方々と相談しながら進めていきたいと考えています。</p>
担当課	都市政策局 交通政策課 電話 220-2038

地域課題 2

町会連合会名	味噌蔵地区町会連合会
地域課題	高齢化が進む地域の活性化について
現状と課題	<p>当地区は江戸時代の町並みそのままに高齢化が進み、一人住まいや無人の家屋が増加している。毎年の積雪時や災害の対応が難しくなっている。</p> <p>各個人の責任ではあるが、この現状が甚だしくなることを考えるとき行政としてもう一步二歩踏み出した対応、対策をとれないものであろうか。</p> <p>他の都市ではどのように対応しているのかも知りたい。</p>
地域が考える対応策・解決策／協議したい事項	<p>個人として、町会の人びとや、民生委員・自主防災士が活動してくれてはいるが、自助・共助に長期間にわたり頼るには限度があり、公助という大きな力が必要である。</p> <p>特に、積雪時や災害の対応に関して、公助の観点からさらなる支援を検討いただきたい。</p>

市の方針等説明書（地域課題 2）

地域課題	高齢化が進む地域の活性化について								
協議事項	<p>自助・共助に長期間にわたり頼るには限度があり、公助という大きな力が必要である。</p> <p>特に、積雪時や災害の対応に関して、公助の観点からさらなる支援を検討いただきたい。</p>								
市の方針等	<p>災害時の対応につきましては、自助・共助・公助の連携が大切であると考えており、防災出前講座や市民防災訓練の実施を通して地域との連携を図るとともに、コミュニティ防災士の育成等にも継続して取り組んでいます。</p> <p>災害時には公助だけではなく、やはり自助・共助による対応が大変重要であると考えています。</p> <p>しかしながら、高齢化が進み、一人住まいや空家が増加している状況において、自助・共助だけでの対応は難しいと認識しており、行政がどのように地域と連携していくことが望ましいのか、今後も地域の方々と話し合いながら、引き続き検討していきます。</p> <p>次に、積雪時の対応につきましては、平成30年度より、大雪時に町会が実施した機械除雪作業に対して、市が経費の補助を行う地域除排雪補助制度を導入しており、導入後も、補助率や補助上限額の見直しを進めてまいりました。昨年度は、補助金額の上限につきまして、1町会あたり1年度につき上限50万円としていたものを、大雪（雪害対策本部設置）ごとに上限50万円とする制度に見直しております。</p> <p>冬期の大雪に備え、事前に町会が除雪を依頼する業者の選定や効率的な機械除雪を行うために各町会が連携して業者へ依頼するなど、事前に準備を行い、制度を有効に活用していただきたい。また、除雪機械や消雪用ポンプの購入補助など、他の補助制度も設けておりますのでご相談願います。</p> <p>本市の除雪作業と支援制度の連携により、地域住民の安全安心につなげていきたいと考えております。</p>								
担当課	<table border="0"> <tr> <td>危機管理監</td> <td>危機監理課</td> <td>電話</td> <td>220-2366</td> </tr> <tr> <td>土木局</td> <td>道路管理課</td> <td>電話</td> <td>220-2321</td> </tr> </table>	危機管理監	危機監理課	電話	220-2366	土木局	道路管理課	電話	220-2321
危機管理監	危機監理課	電話	220-2366						
土木局	道路管理課	電話	220-2321						

地域課題 3

町会連合会名	此花地区町会連合会
地域課題	交通対策（歩行者の安全・安心の確保）
現状と課題	<p>金沢駅兼六園口前に位置する此花地区は、県都金沢の玄関にあたり人と車が集中する地区です。</p> <p>地区内の道路は、幹線道路を除くと狭隘な道路が多く、車が通行すると歩行者が安心して歩けない危険な状況も見受けられます。</p> <p>一方、これらの車の中には、地区に用事のない、単に通り返けだけに利用している車も多いと思われます。</p> <p>また、一方通行の逆走や進入禁止時間を守らない等、違法な車も散見されます。</p> <p>コロナの制限が解除され、観光客もコロナ前に戻りつつあることに加え、来年春の北陸新幹線敦賀延伸も踏まえると、人と車の集中は更に加速し、危険性が增大することが懸念されます。</p>
地域が考える対応策・解決策／協議したい事項	<p>まずは、現状を定量的に把握したうえで、具体的な対策を講ずる必要があると考えます。地区の交通動態調査の実施をご検討いただきたい。</p> <p>対策としては、通り返けを抑制するための交通規制の見直し、「ゾーン30」「ゾーン30プラス」の導入などを、実態に即した形で検討いただきたい。</p> <p>別院通り等の歩行環境の向上により、横安江町や更に他の地区へと歩行者を誘導し、賑わいが拡大する効果も期待されます。</p>

市の方針等説明書（地域課題 3）

地域課題	交通対策（歩行者の安全・安心の確保）
協議事項	<p>地区の交通動態調査の実施をご検討いただきたい。 対策としては、通り抜けを抑制するための交通規制の見直し、「ゾーン30」「ゾーン30プラス」の導入などを、実態に即した形で検討いただきたい。</p>
市の方針等	<p>本市の特にまちなかにおいては狭隘な道路が多いことから、安全に安心して歩くことができる交通環境の実現に向けて、これまでも地域の方々のご意見をお聞きしながら、警察や道路管理者など関係機関と連携して取り組んでいます。</p> <p>また、本地区においては、令和4年度に、学校や警察、道路管理者等の関係機関が実施した通学路合同点検を踏まえ、様々な安全対策を行ってきたところです。</p> <p>他方、交通規制については、商店街をはじめ地域の方々にもご負担が生じることから、地区内の意識の醸成や合意形成が欠かせないと考えています。</p> <p>このため、交通規制を含めた安心して歩けるまちづくりについては、地域の皆様が主体となってその目指す姿をご議論いただいた上で、市として課題等の実態調査など、その具現化に向けた取組を、警察や道路管理者等と連携し、地域の方々と相談しながら進めていきたいと考えています。</p>
担当課	都市政策局 交通政策課 電話 220-2038

地域課題 4

町会連合会名	瓢箪地区町会連合会
地域課題	独居高齢者の増加と空き家対策
現状と課題	<p>子ども世代が郊外に家を持ち、親世代だけが残り、独居高齢者世帯となり、最後は空き家になる。</p> <p>当地区では町会の3分の1が独居高齢者世帯という町会もある。そうになると、町会の役員のなり手が不足し町会運営にも影響が出て来る。</p> <p>また、空き家も増え、持ち主が県外に住む場合も多く、管理が行き届かない物件も多いと聞く。</p> <p>独居高齢者の見守りについては民生委員が行なっているが、個人情報ということで町会長にも親族の連絡先を教えてもらえず、問題が起きた時に町会長はどうすることもできないこともある。</p>
地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項	<p>町会の役員のなり手不足について対策はあるか。</p> <p>空き家の管理について、市ではどのような対応ができるか。</p> <p>独居高齢者に関する問題について、どこに相談すればよいか。</p>

市の方針等説明書（地域課題 4-1）

地域課題	独居高齢者の増加と空き家対策
協議事項	町会の役員のみ手不足について対策はあるか。
市の方針等	<p>昨年度に実施した町会長を対象としたアンケートの結果からも、担い手の確保や組織運営の効率化と負担の軽減は、大切な課題であると認識しています。</p> <p>それらの相談に応じるため、市町会連合会が設けている地域コミュニティサポートデスクでは、具体的な事例を交えながら町会運営に関する相談を受け付けております。場所は市民協働推進課内にあり、来庁だけでなく、電話等でも受け付けておりますので、是非ご利用ください。</p> <p>また、市といたしましては、現役世代や若者が地域活動発信アプリ「結ネット」などデジタルを活用し組織運営の効率化や負担軽減のほか、町会の活動や運営に参加しやすくなるよう努めてまいります。</p> <p>引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。</p>
担当課	市民局 市民協働推進課 電話 220-2026

市の方針等説明書（地域課題 4-2）

地域課題	独居高齢者の増加と空き家対策
協議事項	空き家の管理について、市ではどのような対応ができるか。
市の方針等	<p>空き家は個人の財産であり、原則、その管理は所有者が適正に行い、周辺への悪影響については自主的に改善を図るべきであると考えているため、本市では、所有者や管理者に対して、粘り強く、適正な管理を行うよう指導や助言を行うとともに、危険な空き家の解体を促すための解体補助制度の紹介もあわせて行っています。</p> <p>一方で、空き家の予防については、地域に出向いて空き家になる前の対策についての講座・個別相談会を実施しています。相談会では、金沢地方法務局や司法書士などの専門家の協力を得て、義務化される相続登記などの説明を行い、地域の皆様に空き家予防の意識を高めていただくよう努めています。</p> <p>加えて、本年度からは、町会など地域で問題となっている空き家の対応などについて相談が可能な「町会向けの空き家相談窓口」を建築指導課内に設けていますので、お気軽にご相談ください。</p>
担当課	都市整備局 建築指導課 電話 220-2136

市の方針等説明書（地域課題 4－3）

地域課題	独居高齢者の増加と空き家対策
協議事項	<p>独居高齢者の見守りについては民生委員が行なっているが、個人情報ということで町会長にも親族の連絡先を教えてもらえず、問題が起きた時に町会長はどうすることもできないこともある。</p> <p>独居高齢者に関する問題について、どこに相談すればよいか。</p>
市の方針等	<p>ひとり暮らしの高齢者でお困りのことがありましたら、まずは地域の民生委員にご連絡、ご相談いただきたいと考えています。</p> <p>また、日常生活圏域ごとに配置している金沢市地域包括支援センターでは、高齢者の生活全般に関する心配ごとや困りごとへの相談を受け、必要なサービスを紹介するなど、様々な専門機関や行政と連携した支援を行っています。</p> <p>地域の皆様におかれましては、これらを積極的にご利用いただきますようお願いいたします。</p>
担当課	<p>福祉健康局 福祉政策課</p> <p>電話 220-2288</p>

共通課題

<p>共通課題</p>	<p style="text-align: center;">小学校等の跡地対策・有効活用について</p>
<p>現状と課題</p>	<p>此花・瓢箪・味噌蔵・材木の当該エリアでは、これまで小学校の統廃合が進み、その結果、廃校跡地の活用が課題となり、新たな運用で活用されている施設もありますが、旧材木町小学校跡地や、今後、兼六小学校移転に伴う跡地活用が大きな課題となってきます。</p> <p>また、金沢駅前の旧都ホテル跡地も空き地のまま放置されており、玄関口の景観阻害要因になっているだけでなく、都市の品格をも損ねています。治安・風紀上も好ましくありません。</p> <p>これら、金沢市の中心部に残る大きく貴重な空間を、将来にわたって有効に活用することが求められます。</p>
<p>地域が考える 対応策・解決策 ／協議したい事項</p>	<p>旧材木町小学校跡地活用については概ねの方針が定まってきましたが、兼六小学校移転に伴う跡地活用は喫緊の課題です。</p> <p>味噌蔵・材木地区だけの課題ではなくまちなかエリアの課題として捉え、金沢の新しい文化を創り出す場として、地域住民や学生、各種団体、観光客等の利用も視野に入れた施設活用について調査、検討を地域と協力して進めてほしい。</p> <p>また、駅前空き地については、市として地権者に対して積極的な働きかけ等をお願いしたい。</p>

市の方針等説明書（共通課題）

地域課題	小学校等の跡地対策・有効活用について						
協議事項	<p>旧材木町小学校跡地活用については概ねの方針が定まってきましたが、兼六小学校移転に伴う跡地活用は喫緊の課題です。</p> <p>味噌蔵・材木地区だけの課題ではなくまちなかエリアの課題として捉え、金沢の新しい文化を創り出す場として、地域住民や学生、各種団体、観光客等の利用も視野に入れた施設活用について調査、検討を地域と協力して進めてほしい。</p> <p>また、駅前空き地については、市として地権者に対して積極的な働きかけ等をお願いしたい。</p>						
市の方針等	<p>小学校の跡地については、地域の皆様のご理解・ご協力を頂きながら、その利活用策について、検討していく必要があると考えています。</p> <p>旧材木町小学校跡地及び兼六小学校移転に伴う跡地については、市内横断のプロジェクトチームを設置し、跡地の有効活用に向けた検討を進めているところです。</p> <p>検討の進捗に併せて、適宜、地域の皆様からのご意見もお聴きしながら取り組んでまいりますので、引き続き、ご理解・ご協力をお願いいたします。</p> <p>金沢駅前の旧金沢都ホテルの跡地に関しましては、県都金沢の玄関口に位置しており、当該跡地の開発は、今後の県・市の発展に大変重要であることから、これまでも、跡地を所有する近鉄不動産とは、担当部局の間で、情報を共有しているほか、市長が訪問した際には、先方から、アフターコロナを見据え金沢の玄関口にふさわしい開発の意向を確認しているところです。</p> <p>引き続き、跡地所有者との情報共有を図るとともに、地元の強い思いを伝え、早期の開発を働きかけていきます。</p>						
担当課	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">都市政策局</td> <td style="width: 33%;">企画調整課</td> <td style="width: 33%;">電話 220-2031</td> </tr> <tr> <td>教育委員会</td> <td>教育総務課</td> <td>電話 220-2431</td> </tr> </table>	都市政策局	企画調整課	電話 220-2031	教育委員会	教育総務課	電話 220-2431
都市政策局	企画調整課	電話 220-2031					
教育委員会	教育総務課	電話 220-2431					